

建設のあゆみ

【完成】

- ◎道路改良工事
町道古川区内線……………243m
- ◎道路排水整備工事
町道栗山南部2区内線…131m
町道本町区内線……………77m

【工事中】

- ◎団体営農道整備事業
農道整備工事(新島)……710m
- ◎農村総合整備モデル事業
農業集落道舗装工事(鳥喰上・新田)……………808m
- ◎道路舗装新設工事
町道北清水東区内線……140m
町道北清水西区内線……332m
町道栗山南部1区内線…178m
町道古川区内線……………76m
- ◎道路舗装補修工事
町道鳥喰下区内線……386.5m
- ◎道路改良工事
町道坂田遠山線(部分)…56.5m
- ◎集会所新築工事(北清水西)
木造平家建……………118.4m²
- ◎共同利用施設新築工事(東町)
鉄筋コンクリート平家建
181.5m²



東町共同利用施設起工式
(クワ入れをする佐瀬町長)

課の位置が変わりました

今まで庁舎の一階北側にありました「建設課」「産業振興課」が、二階へ移動しましたのでよろしく。

確定申告はお済みになりましたか？
三月十五日が期限ですが、十日を過ぎると税務署は大変混雑します。
早めにおいでいただければ、窓口も混み合わず十分にご相談にも応じられます。去年よりせめて一日でも早くおいでください。
もう申告の済んだ方は、もう一度申告書の確認をしてみま



お済みですか？確定申告

もし三月十五日以前にまちがいに気がついたら、すぐに訂正の確定申告をしてください。
十五日を過ぎてからまちがいに気づかれた方は、一日も早く修正申告をしてください。
税務署から指摘される前に修正申告をすれば、過少申告加算税はかかりません。また、多く申告してしまつたことに気づいたら「更正の請求」をしてください。期限は翌年の三月十五日までです。

発芽勢を高めるためには、朝方の最低地温10℃を確保しなければなりません。は種予定の15日前に施肥を行い、耕耘後直ちにマルチングして、地温の上昇を図ってください。さらに労力の余裕がある人は、種前に被覆資材をかけておく

1 地温を高める

食用トウモロコシのは種期となりましたが、今年は過去四、五年に比べ最低気温で二〜三℃低く、発芽やその後の生育の遅れが予想されます。
この対策として、次のようなことに注意して初期生育を高めましょう。



今年寒い！ 食用とうもろこしのほ場準備は早めに

初期生育を高めるための対策

3 早めに換気を

この対策として、は種後十五日ごろからトンネルの中央部へ十メートルごとに換気穴を開け、その後は気温の上昇に合わせて、換気穴を増やしてください。

以上のような対策をして、今年の食用トウモロコシの作柄が安定するようにしましょう。

2 凍霜害対策

昨年とは凍霜害の実害がなかったため、作柄は非常に良好でしたが、今年は寒さが強く、長期予報でも春の訪れは遅いようです。従って、二月下旬〜三月上旬には種する場合は、トンネル内に水封チューブ(水マクラ)を入れ、保温被覆材はユーラック等を使い、保温に心がけてください。この水封チューブをトンネル内に設置すると、設置しないものに比べトンネル内の温度は二〜三℃高く保て、凍霜害発生時に大きな効果をあげます。

1・2を実施しても、発芽後の換気が遅れると、ひよろ長く軟弱に生育するため、凍霜害時の被害は大きくなります。



と、地温の上昇が速く、発芽や初期生育が安定します。